

□ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

この部分は
著作権の関係で掲載できません。

問1 — 線 「大急ぎで走っていった」時の「正三」の気持ちを表した語を、本文中から二字でぬき出して答えなさい。

問2 — 線 「てんとすまして着陸している」は「ひばりの子」のどのような様子を表していますか。最も適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- ア 肥料の上に着陸して困っている様子。 イ 一人で空を飛べたことを得意がる様子。
- ウ 何事もなかったようにふるまう様子。 エ 親の所へ帰ろうと必死になる様子。

問3 — 線 「正三が、そつどなろうとした」とありますが、この時の「正三」の気持ちとしてあてはまるものを、次の中から二つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 親しみ イ いかり ウ 軽べつ エ 尊敬 オ 安心

問4 — 線 「ふたりは、にらみ合ったまま、少しずつ近づいていった」とありますが、この時の「正三」の気持ちとしてふさわしくないものを次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 男の子が近づいてきたので後に引けないという気持ち。 イ ひばりの子に石を投げる男の子の行動を許せない気持ち。
- ウ 乱暴なことをする男の子をこらしめようとする気持ち。 エ せまってくる危険からひばりの子を守るようとする気持ち。

問5 () A () C () F () に入る語を次の中からそれぞれ選んで、記号で答えなさい。

- ア こそこそと イ さつさと ウ じりじりと
- エ おどおどと オ あたふたと カ のろのろと

問6 B に入ることはとして最も適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- ア 相手がひるんで引き下がるかもしれない イ だれか通りかかってとめてくれるだろう
- ウ ひばりの親がもどってくるかもしれない エ ひばりの子が早くにげてくれればいい

問7 — 線 「これは、やっかいなことになったぞ」とありますが、どうして「やっかい」だと思ったのですか。十五字程度で説明なさい。

問8 D E G にはそれぞれ「正三」の心の中を表すことばが入ります。適当なものを次の中からそれぞれ

選んで、記号で答えなさい。

- ア あぶない。早くにげる。 イ ああ、よかった。あぶないところだったな。
- ウ ひばりを早くにがしてやらないと。 エ なぐられるかもしれない。
- オ うまくこまかしてしまえ。

問9 — 線 で、相手が「むこうへ行ってしまった」のはなぜだと「正三」は思いましたか。本文中の語句を用いて四十字以内で説明なさい。

問10 — 線 「ああ、ゆかい、ゆかい」とありますが、なぜ「ゆかい」のですか。その理由として適当なものを次の中から二つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 年上の男の子を相手に一歩もゆずらなかつたから。 イ 初めてのけんかに勝つことができたから。
- ウ 弱い者いじめをする男の子をやっつけてしまったから。 エ ひばりの子を助けてやることができたから。
- オ 本心にひばりが自分のものになったような気がしたから。

問11 「正三」はどんな性格の男の子ですか。最も適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- ア 年上の子どもが相手でもけんかをおそれない勇かな子。 イ 苦しい場面でもとっさの判断ができる落ち着いた子。
- ウ 危険な時でも小動物への思いやりを忘れないやさしい子。 エ どんな乱暴な人間でも許すことができる心の広い子。

二 次の——線の漢字をひらがなに直しなさい。

() () () () () () () () () ()

子供を養つ 店を構える 野菜を刻む 変化に富む 相手を退ける

三 次の——線のひらがなを漢字に直しなさい。

不良品をのぞく 土足げんきんのはり紙 りがいが対立する 新入社員をとる

政治がいかくを行う えいぞうが目に焼きつく 雨天のためじゅんえんになる スポーツをかんせんする

てじほつで遊ぶ 文明のきげんを調べる

四 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

この部分は著作権の関係で掲載できません。

この部分は、著作権の関係で掲載できません。

問1 ― 線 「こつこつおかあさま」とはどつこつ、「おかあさま」ですか。本文中から二十字程度でぬき出して答えなさい。

問2 ― 線 「かたを張って歩きまわる」とはどのような様子を表していますか。十字以内で答えなさい。

問3 ― 線 「この強力な知識に目がくらんでしまつては困るのである」とありますが、「知識に目がくらんでしまつ」とどどのような考えを持つようになるのですか。「知識」という語を必ず用いて答えなさい。

問4 ― 線 「知識を生かすところの原動力」は何だと筆者は言っていますか。本文中から三つぬき出して答えなさい。

問5 ― 線 「孤^こ立^{りつ}した知識は、エンジンを失つた船のかじのようなものである」という表現は、どのようなことを意味していますか。その説明として最も適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。
ア 知識にたよりすぎると困難にぶつかったときに正しい判断ができなくなる。
イ 知識ばかりが増えると思ひやりのある人間関係を築くことができなくなる。
ウ 知識がバラバラの状態だと物事の真実を見きわめることができなくなる。
エ 知識にかたよりすぎると豊かな人生を切りひらいていくことができなくなる。

問6 ― 線 「心の解放の場」とありますが、「心が解放される」とどのようなことになるのですか。本文中から二つぬき出して答えなさい。

問7 ― 線 「流れこんでいく」とありますが、どこに「流れこんでいく」のですか。本文中からぬき出して答えなさい。

問8 次の一文が本文中からぬけています。どこへ入れたらよいですか。あとに続く一文の最初の五字を答えなさい。

肉体といえは、心と肉体とはどつこつ関係にあるのであろうか。

問9 本文の内容と合っているものを次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 幼いときの母とのふれあいによつてのみ、豊かな人間形成を期待することができるのである。
- イ 学歴社会が生まれてきたのは、幼いころに自然に親しみ感動することを軽視した結果である。
- ウ 幼いときに、心を豊かにはくむすぐれた物語をたくさん聞かせてあげたいものである。
- エ 知識を数多く身につけるよりも、幼いころに忘れられない思い出を作るほうが大切である。

問10 本文中に「心に鳴り続ける金のすず」ということばがありますが、あなたにとって「金のすず」とはどのようなことですか。

二百字以内で自由に書きなさい。(本文の内容にとらわれる必要はありません。)